

視察研修・研修会等報告書

議席番号（ 6 ） 議員名（ 石塚 政行 ）

1 令和6年1月23日～1月25日 （日数 2泊3日）

2 場 所 岡山県奈義町、広島県尾道市、岡山県井原市

3 視察、研修事項 「子育て支援」政策について
尾道市空き家再生プロジェクトについて
世界が認めた「美しい星空」の下でのまちづくり推進事業
について

4 面 接 者 奈義町情報企画課副参事 小坂昌平
NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 専務理事
井原市建設経済部観光交流課 課長 藤岡健二、係長 多賀 大祐
井原市議会議長 三宅 文雄

5 視察研修、研修会の成果

別紙のとおり

令和6年1月23日(火) 岡山県奈義町行政視察

奈義町 「子育て支援」政策について

1. 奈義町について

- ・昭和30年2月 3村合併により「奈義町」誕生
- ・平成14年12月 合併の意思を問う住民投票を行い「単独町制」を決定
- ・特色 自衛隊駐屯地が行政区の2割を占める

子育て関連施設

- ・保育園1、幼稚園2
- ・小学校1校、中学校1校
- ・子育て支援施設（チャイルドホーム）

R5.9~奈義保育園でおむつのサブスクを導入に合わせて、「災害時における救援物資の提供等に関する協定」をサービス提供会社と締結。

世帯別構成比

- ・生産年齢人口が約50%

2. 少子化対策の意義

- ・少子化対策は子育て世代だけの問題ではないため、課題を住民と一緒に考える。

若者や子育て世代が減少してしまうと、生活に必要な施設や機能、サービスを維持することは難しくなり、少子化による人口減少は「高齢者」の安心・安全な生活にもつながる課題である。

3. 奈義町の子育て支援施策

- ・妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない経済的支援

- ・出産、子育て等に係るメンタル的支援

子育てに優しい地域づくり、機運醸成

- ・奈義町が抱える地域課題の解決（住む、働く）

岡山県奈義町行政視察について 『子育て支援政策』

岡山県奈義町の子育て支援政策は、非常に充実した内容であると感じました。
子育て支援には、保育施設の充実や子育て支援センターの活用などが含まれていることにより、子育て中の親子が必要な情報やサポートを気軽に受けられる環境が整っていると感じました。

特に、子育て支援センターにおいては、親子が気軽に集える遊び場として利用できるだけでなく、専門家による相談や講座などのプログラムも提供したりしていました。
これにより、地域の子育てに関する情報交換や支え合いの場が提供され、子育てに不安を抱える親子が安心して育児に取り組むことができると感じました。

また、保育施設においても充実しており、子育て中の親が仕事に復帰しやすい環境も整っており、親自身も安定した生活を送ることができると思いました。
また、保育施設内での保育士の充実や研修の機会の提供など、子供の安全と健やかな成長を支えるための措置が行われているとのことで、信頼性のある保育環境が整っていると言うのは大きいと感じました。

このような子育て支援政策により、奈義町で子育てをする家族が快適に暮らすことができるだけでなく、子供たちの未来にも良い影響を与えることができると思います。地域全体で子育てに取り組む意識が高まり、将来に向けて活躍できる育成にもつながるのではないかと思います。

我が矢板市においても、実際に子育てしている市民の意見に耳を傾け、今本当に何が必要なのかしっかり協議し政策提案していきたいと思います。

令和6年1月24日(水) 尾道市空き家再生プロジェクトについて

坂の町・尾道の独特の景観は映画やCMをはじめとする様々なメディアで全国、全世界に紹介され、尾道の代名詞のように伝えられているが、一方では車中心の社会への変化や核家族化、少子高齢化による中心市街地の空洞化といった現代の社会問題を多く抱えているエリアであり、斜面地や路地裏などの住宅密集地に増え続ける空き家問題が深刻であり魅力満載の坂のまちには、300を超える空き家が存在し、駅から2キロという徒歩圏内に500軒近い空き家があるのではないかと推測され、その多くは長年の放置により廃屋化しており、建て替えや新築不可能なロケーションにおいて、現存する空き家をいかにうまく活用し、後世に伝えていくかが最重要課題となっている。

そんな空き家の再生事業を通して古い町並みの保全と次世代のコミュニティの確立を目的として活動している。

広島県尾道市行政視察について

『空き家再生プロジェクト』

空き家再生プロジェクトは、地域の景観や資産活用の観点から非常に意義のある取り組みだと感じました。

空き家が増加することで、街並みの荒廃や地域経済の停滞が生じる可能性があるが、このプロジェクトによってこれらの問題が解決される期待が持てると感じた。

プロジェクトの中でも特に良いと思った点は、空き家を購入し改修。住宅や商業施設として再利用するといった積極的な取り組みです。これによって、街の活性化につながるだけでなく、新たな住居や仕事の場を提供することもできます。また、空き家が増えることで治安の悪化や衛生面の問題が発生することを抑制し懸念される問題の軽減につながると感じました。

さらに、既存の建物を活用することで資源の有効活用、耐震補強や断熱改修を行うことで省エネルギー効果も期待できるとしている。これにより持続可能な社会への一歩を踏み出せるのは大きな利点と感じました。

しかし、購入・改修に加え、見合った需要と供給があるのかも問題点になると感じました。

総合的に、尾道市空き家再生プロジェクトは地域活性化や持続可能なまちづくりの実現に向けた非常に有益な事業だと思いました。是非、矢板市独自のプロジェクトが出来るよう協議を続け、政策提案したいと思います。

令和6年1月25日（木） 井原市行政視察

世界が認めた「美しい星空」の下でのまちづくり推進事業について

井原市美星地区

- ・鎌倉時代初期の承久年間には、流れ星が空中で3つに割れて落ちたとされる伝説（星尾降神伝説）も残るなど、星とのかかわりの深いまちである。
- ・1988年1月に環境庁により全国108の自治体が「星空の街・あおぞらの街」に選定された。

天体観測環境の保全の取組

- ・「美しい星空を守る美星町光害防止条例」の制定
- ・「星空保護区」への認定

保護区認定後の星空観光の推進

- ・美星町観光協会×JR西日本×日本旅行による看板商品化プロジェクトなど官民連携観光事業に取り組む。

岡山県井原市行政視察について

『世界が認めた【美しい星空】の下でまちづくり推進事業』

まず、このような取り組みがあることに驚きました。

この事業は、何とんでも地域の方々の協力や価値観、理解がなくてはできない事業だと思います。しかし井原市の方々は、空気の澄んだ地元のきれいな星空を理解し、積極さと意識の高さを感じました。

地域の魅力を再発見し、地域の活性化にも繋がりますし、地球環境を考える重要なテーマだと感じました。このような取り組みは、我が矢板市にも同等と思われる自然環境であることから、是非、観光としてのアイデアと捉え調査研究していきたいと思えます。